

# 兼統の経営戦略とは

## 上越商議所 青年部講演会 火坂さんが解説

上越商工会議所青年部（新井康祐会長）は五  
日、「天地人」著者の火坂雅志さんの講演会を上  
越市西城町三のデュオ・セレッソで開いた。演題は「天地人〜直江兼統公の経営戦略〜」。



「優しさと厳しさを秘めた妻木木聡さんはまさに兼統」と話す火坂さん

同会議所関係者のほか、文化関連など幅広い分野の関係者が聴講した。

火坂さんは本格始動したNHK大河ドラマ（二〇〇九年）の撮影秘話を披露しつつ、まず兼統の師である謙信公について名将といわれた政治手腕と「義」に象徴される精神を紹介。一番弟子だった執政の兼統と謙信没後の主君・景勝との関係を読み解いた。文武に秀でてハンサム、長身の兼統と、背は低く常に「苦虫をかみつぶしたような顔」で寡黙だった主君は好対照。火

坂さんは「今でいうと学友。二人はいつも一緒でともに成長し、兼統十九歳の時、謙信が急逝した。その後一年にわたる越後を二分する内乱に突入した」とわかりやすく参加者に語った。

### サンシャインではサイン会も

火坂さん

中郷区の妙高サンシャインホテルでも八日、火坂雅志さんの講演会が開かれた。

火坂さんは上杉謙信について、義という「精神論を振りかざしただけで



多くの人が列を成した講演会後のサイン会

なく、米の増産や金銀山の開発、アオソンの大量生産による特産化という三つの経済政策により越後を経済大国にした」と指摘した。

有名な直江兼統の「愛」のかぶとについては「仁愛の愛。家臣や民を思いやる政治を行うと、いうことを刻みつけたのでは」と話した。謙信が推し進め、上杉景勝と兼統が継承した「経済と義の両立する政治は、今こ

そ大切」と力を込めた。講演会後、サイン会や「天地人御膳」と銘打った食事と火坂さんを囲ん

だ夕食会もあった。講演会は妙高サンシャインリゾート開業二十周年記念イベントの一環。